

2015年度事業計画

【0】基本方針・重点課題

1. 昨年度に引き続き、諸事業の改善・推進を図る。特に広報活動強化、ウェブページ刷新、青年層の育成・支援強化に取り組む。
2. 世界エスペラント協会の“Jaro Montevideo 60” (JM60) キャンペーン (1954年のユネスコ・モンテビデオ総会でのエスペラントを支持する決議60周年記念) に呼応して活動を行い、フランス・リールでの第100回世界エスペラント大会のために協働し、また仙台での第102回日本エスペラント大会を成功させる。
3. 上記の活動を通じて国内でのエスペラント普及に努力し、会員増につなげる。

【1】エスペラント普及事業 (担当：普及推進部)

【1. 1】基本事業

1. 国内外のエスペラント組織と連携し、エスペラントを知らせ、エスペランチストを増やす普及活動を行う。
2. 広域団体会員、地域団体会員、専門団体会員、また個人会員との連携を強化し、会員以外の団体、個々のエスペランチストを含めて協働の輪を広げ運動の発展を図る。
3. 第102回日本エスペラント大会 (宮城県仙台市) の開催を機に、特に東北でのエスペラントの普及に力を入れる。
4. 広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動を強める。

【1. 2】エスペラント活動推進事業の計画

1. エスペラント運動が現在どのような状況にあるかの把握に努める
 - (1) 広域、地域、専門の各団体に対し、本年の活動に関する情報の提供を依頼し、それを2016年4月号のLa Revuo Orientaに「エスペラント運動年鑑」(2015年分)として発表する。また今後の運動年鑑の編集および発表方法について見直し検討を進める。
 - (2) 日本エスペラント大会中に、できるだけ多くのエスペラント会 (地域団体会員等) からの参加を得て「エスペラント会懇談会」を開催し、情報の共有、経験交流、運動の方向の確認を図る。
2. 各エスペラント団体との関係をより緊密にする。
 - (1) 地方エスペラント連盟の大会などに理事が出席し、各地のエスペラント運動の状況について意見交換を行うように努める。
 - (2) 昨年発行された「JEIの事業に対する意見集」RO号外2014.6)の結果を運動に活かす。
 - (3) エスペラント会連携推進委員会を設置し、「エスペラント会懇談会」やメーリングリストの運営、ウェブ資料集の整備に努める。
(注：エスペラント会メーリングリストが出来るため、「普及推進部だより」は発行しない)
3. 会員の拡大・定着に努める。
 - (1) 青年層のエスペランチストを育成・支援するための青年支援基金を創設する。
 - (2) 新しい会員を獲得できるよう、各団体に「入門講習会」の開催を呼びかける。
 - (3) 来日する外国人エスペランチストに地方会を訪問してもらうようにする。
 - (4) エスペラント団体の存在しない県に対する取り組みを行う。
 - (5) エスペラント団体に団体会員制度の利点や重要性を知ってもらい、未加入団体への参加をの要請を継続する。

（6）会費、会員制度についての検討を継続する。

4. その他の取り組み

（1）運動に功績があったエスペ란チストに「小坂賞」を授与し、内外にその功績を広める。

【1. 3】エスペラント広報事業の計画

1. 本会のウェブページを刷新し、エスペラントに関することや行事・講習会等に関する情報を、よりわかりやすく提供する。また、掲載したことを定期的に、メールで会員に周知する。
2. ウェブページ以外にもフェイスブック、ツイッター、ユーチューブ等のウェブ活用をさらに進め、より広い層への効果的な広報に努める。
3. 昨年度より始めたマスコミ向けのニュースリリース「エスペラントの今」の定期的な発行を行う。
4. JM60を各種イベント等の機会を利用して、一般に広報する。
5. 広報材料の拡充。
 - （1）JEIの活動について紹介するチラシを作成する。
 - （2）冊子「国際語エスペラントへの招待」の改訂のための編集作業を行う。
 - （3）エスペラント展に使える展示資料や宣伝チラシのウェブ上の共有書庫を充実させ、一部を公開する。
 - （4）エスペラントを紹介する動画のコンクールを行い、一般への広報に活用する。
6. 展示会（東京グローバルフェスタ）へ出展する。

【2】エスペラントを用いた国際交流事業（担当：国際部）

【2. 1】基本方針

1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio = UEA）の日本における国別代表組織として推進する。また、UEAのアジア運動委員会（Komisiono pri Azia Esperanto-Movado = KAEM）と協働する。事業には、日本のUEA委員、UEA-Delegito（都市等代表）、KAEM委員やKAEM協力者が協働して当たる。
2. 日本のエスペランチストが行う国際的なエスペラント活動を支援する。
3. 外国のエスペランチストに日本の各種行事への参加を促す。

【2. 2】国際交流事業の計画

1. 2015年に行われる国際的なエスペラント大会への参加、また協力を呼びかける。青年層へ行事の広報をJEIウェブページ等で行い「青年エスペランチスト国際行動支援金」制度の活用を積極的に呼びかける。
 - （1）第100回世界エスペラント大会（フランス／リール、7月25日～8月1日）に対して、UEA委員の派遣、Movada Foiro（エスペラント運動展）出展および参加旅行団を関連事業部と協力して実施する。
 - （2）第71回国際青年エスペラント大会（ドイツ／ヴィースバーデン、8月2日～9日）。
 - （4）第34回東アジア青年エスペラント合宿（Komuna Seminario inter orient-aziaj junuloj）（開催予定地：韓国 釜山）。
2. 第102回日本エスペラント大会（【6.2】参照）中の関連行事—アジア活動分科会、UEA Delegito 分科会、Pasporta Servo（国際民宿網）分科会—を開催する。東アジア4か国の代表組織に同大会への招待状を送り、実行委員会と協働する。
3. 日本のエスペランチストへの支援として、国際文通サービスを継続する。
4. UEA-Delegito 間の連絡を図り、また不在地域にはDelegitoを置くように働きかける。
5. 各地のエスペラント会の姉妹都市交流を支援する。

【3】 エスペラント研究教育事業（担当：研究教育部）

【3. 1】 基本方針

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成および指導力強化、エスペラント入門のための教材提供、学校におけるエスペラント授業への支援、エスペラント界外でのエスペラント教育に関する事業の支援等に取り組む。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組む。
3. ハケ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、エスペラント運動の発展に寄与する。本施設を内外のエスペランティストおよび一般に開かれた施設として有効利用する。

【3. 2】 研究教育事業の計画

1. エスペラント集中学習の機会として、第48回エスペラントセミナリーオを山形県で開催する（5月3日～5日）。
2. 講師養成講座：10月初旬、東京か関西地区で予定。
3. エスペラント学力検定試験およびKER試験（5月30日）を実施する。新テストは今年度は実施しない。
4. エスペラント学力検定試験問題集新版を発行すると同時に、ウェブ上でも過去問を公開する。
5. 講師認定制度は、規程の改訂と、認定の基準を検討する。
6. 学校でのエスペラント授業を支援する。
7. 在宅で学習できる方策の提案を行っていく（「ドリル式エスペラント入門」、Lernu.net等のウェブ上の学習サイトの利用の仕方を含めて）。
8. 日本エスペラント大会において研究発表会および文芸コンクールを実施する。
9. 今後のエスペラント教育の体制をどう作るか、検討を始める。

【3. 3】 ハケ岳エスペラント館における事業の計画

1. 2015年には利用者500（委員を含む）を目標にする。そのために
 - (1) 4月11日（土）から11月12日（木）まで開館し、この間、週末と夏季は宿直当番を置き、利用者の便宜を図る。
 - (2) 2014年に引き続き平日の宿泊利用を1000円にする。これを生かすために、「エスペラント館利用ライセンス」所有者を増やし、平日の宿泊利用を促進する。なお、ここでの平日とは、日曜から金曜までの日であるが、祝日の前日は除く。また夏季は適用しない。
 - (3) 運営委員を増員し、運営体制の強化を図る。
 - (4) エスペラント館がより快適な場所になるよう、絶えず整備を行う。
 - (5) 国内外のエスペラント界と地元へエスペラント館の宣伝を強める。
 - (6) 館内の展示の整備を進めていく。
2. 次の行事を主催する。
 - (1) 第17回エスペラント漬け合宿（8月下旬、略称NEK、エスペラントのみを使って行う合宿）。
 - (2) 秋に「ハケ岳エスペラント館の日」を設け、それにちなんだ催し。
 - (3) エスペラント関係展示（通年）。

【4】 エスペラント雑誌の刊行事業（担当：編集部）

【4. 1】 基本方針

1. 雑誌『La Revuo Orienta／エスペラント』（RO誌）を下記の方針で発行し、エスペラントの普及発展に資する。

- (1) エスペラントを学ぶ人にとって学習のよりどころとなる。
- (2) エスペラントを使う人にとって実用の場を深め、広める。
- (3) エスペラントを広める人にとって情報源となり、運動の活力となる。
- (4) 特に若い会員、新規入会者にとって魅力的な誌面構成になるよう努める。

【4. 2】雑誌刊行事業の計画

1. 雑誌（RO誌）を下記のように刊行する。
 - (1) 基本的に、印刷版として、A5判40ページを原則とした雑誌を毎月発行する。ただし8・9月号は合併号とする。
 - (2) 電子版については、個人会員に専用ウェブページで提供する。
 - (3) 視覚障害者向けには、印刷版を抜粋した音声版を発行する。また点字版の制作に協力する。
2. 編集体制は、毎月の編集部会を中心とし、年1回は拡大編集部会を開く。
3. 各号については、ニュース記事・定例記事・特集記事などの比率、日本語文とエスペラント文との比率を考慮しつつ編集する。特集記事については、本会とエスペラント界の動向を反映しつつ、編集部会で計画する。
4. 他の事業部門との連携により、「号外」を複数回発行する。（4月に普及推進部と「運動年鑑」、2016年1月に大会組織部と「第102回日本大会報告」）。

【5】図書等刊行・頒布事業（担当：出版部）

【5. 1】基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントの関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また内外のエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

【5. 2】図書刊行事業の計画

1. 今年度出版物として下記を予定する。また他に具体的な出版物の案がある場合、検討する。
 - (1) 藤巻謙一「はじめてのエスペラント」改訂版
 - (2) 後藤斉「エスペラント日本語辞典の使い方」
 - (3) 後藤斉「人物日本エスペラント運動史（仮称）」第102回仙台日本エスペラント大会記念本（案）として
 - (4) 『国際語エスペラントへの招待』改訂版
 - (5) 『エスペラント学力検定試験問題集』（2015年版）
2. 今後の出版物の計画をする
 - (1) 「日本語エスペラント辞典（宮本正男編）」の改訂出版のための編集委員会を持ち、編集作業に取り組む。（2015年2月15日第1回の委員会をJEI事務所にて開催予定）
 - (2) 日本エスペラント運動史（初芝武美編）」以降の歴史（1969年以降）の編纂について検討する。
 - (3) 『エスペラント日本語辞典』第2版を検討する。

【5. 3】図書頒布事業の計画

1. エスペラント書籍の販売、取り次ぎを行う。出張販売に応じる。
2. エスペラント図書の拡販に努める。

【6】エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

【6. 1】基本方針

1. 日本エスペラント大会は、エスペラントの実用・活用の場であり、エスペランティスト同士が交流し親交を深めエスペラント文化を高める場でもある。日々の学習の成果発表の場でもあり、社会にエスペラントの存在を示す場でもある。このような意義を持つ日本エスペラント大会は、対象者を国内外のエスペランティスト並びに一般市民として、JEIが各地方のエスペランティストの協力を得ながら毎年開催する。
2. 大会を継続して開催する体制の整備を進める。

【6. 2】日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 第102回日本エスペラント大会を仙台市において次の要領で開催する。
 - (1) 日程：2015年10月10・11・12（土・日・祝）
 - (2) テーマ：Espero trans la katastrofo 災厄の向こうの希望。
 - (3) JM60を記念する公開講演会を開く。
2. 青年の参加を促す次の項目を行う。
 - (1) 青年サロンを設け、また青年に分科会を設けるよう促す。
 - (2) 海外の青年エスペランティストを招待して、講演番組を設け、並びに青年との交流を促す。
3. 第103回大会以降の開催地についても順次決定していく。
4. 大会開催に関する事務の合理化・標準化を進める。

【7】その他事業及び法人の管理

【7. 1】基本方針

1. 本協会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員層の拡大をはかる。
2. 各事業部門と連携し、事業が円滑に行なわれるよう支援する。
3. 引き続き新財団の管理方法確立に取り組む。

【7. 2】総務部担当事業の計画

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など）を事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て着実に実行する。
2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的に関き対応する。
3. 図書館関連事業を、ボランティアの協力を得て推進させる。
4. 図書カタログ発行の形式（従来は隔年）について検討する。また、図書販売促進のための対策を実行する。
5. 6月12日のエスペラントの日に対応して、6月21日に「エスペラントの日」記念公開講演会を開催する。
6. 関連事業部と協力し、第100回世界エスペラント大会（フランス、リール）へ向けて参加旅行団を企画、実施する。

【7. 3】財務部担当事項の計画

1. 公益目的支出計画および長期収支予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支える。

【7. 4】ウェブ管理部担当事項の計画

1. 本会のウェブページの刷新を行う。具体的には、外部委託でウェブサイトの枠組みを構築し、各ウェブページに従来の内容または改善した内容を記載し、年度内に一部公開する。
2. 本会のウェブページにて、本会の一般財団法人としての情報を公開する。
3. 本会のウェブページにて、販売図書などの会員サービス情報を提供する。

2015年度事業計画（案）

4. 本会の事業をインターネット技術の側面から支援する。
5. エスペラント界のウェブサイトとの連携を図る。